

部活動の地域連携・地域移行 説明会

令和 7 年5月30日
多摩市くらしと文化部作成

※本説明会資料は説明会終了後にホームページに掲載いたします。（6月4日頃を予定）

説明会実施の目的

- 部活動の地域連携・地域移行に関する情報を共有し、関係者の皆様と本課題に対する共通認識を持つこと。



- 多摩市における現在の検討状況をお知らせし、これに対してご意見をいただくことで、より質の高い検討につなげていくこと。



- 部活動地域移行に向けた試行実施につなげていくこと。

1 部活動の地域連携・地域移行の概要

2 アンケート結果概要

3 多摩市における現在の検討状況

4 今後の予定

5 質疑応答

スポーツ庁・文化庁「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」

- ・ 以下「国ガイドライン」という。

スポーツ庁・文化庁「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」最終とりまとめ

- ・ スポーツ庁・文化庁が所管する部活動の今後の方向性や総合的な方策を検討する会議

東京都「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」

- ・ 以下「都ガイドライン」という。

東京都「未来へつなぐ 部活動改革 アンケート」集計結果

- ・ 以下「都・生徒・保護者・教員アンケート」という。

東京都「学校部活動の地域連携・地域移行に関する推進計画」

- ・ 以下「都推進計画」という。

多摩市「学校部活動の地域連携・地域移行に関する推進計画」

- ・ 以下「多摩市推進計画」という。

多摩市「部活動地域連携・地域移行に関するアンケート調査」

- ・ 以下「多摩市スポーツ文化団体アンケート」という。

1

部活動の地域連携・地域移行の概要

現状・背景

- 生徒数の減少により学校単位での部活の維持・継続が困難になっている。
- 少子化に伴う教員数の減少により顧問となる教員が不足している。
- 専門性や本人の意思に関わらず教員が顧問を務める部活動運営では技術等の指導体制を継続することが困難になっている。
- 学校における教員の働き方改革が求められている。

目的

- 地域においてより充実したスポーツ活動・文化活動が行われること。
- 中学生が継続的にスポーツ・文化芸術活動に継続して親しめる環境整備。
- 生徒の自主的・自発的な参加が可能な仕組みの構築。
- 一定のペースでスポーツ活動や文化芸術活動を行うことを通じて、信頼する友人を見つけたり、部員同士の切磋琢磨や技能向上を通じて豊かな中学生生活を送れる環境の構築。

地域連携

- 教育課程外の学校教育活動としての部活動として実施。（都ガイドラインP3）
- 教員の負担軽減や地域のスポーツ文化団体の協力などにより運営を工夫する。（都ガイドラインP8）
- 特定分野の部活が設置出来ない場合や顧問・指導者が配置出来ない場合は拠点校の部活動参加や合同部活動の取り組みを行う。（国ガイドラインP11）

地域移行

- 地域クラブ活動は社会教育法上の社会教育としての一環として捉えることができる（国ガイドラインP13）
- 運営主体・実施主体は総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団、スポーツ協会、競技団体、クラブチーム、民間事業者、大学など多様なものが想定されている。なお、自治体が運営主体となることも想定されている。（国ガイドラインP14）

スポーツ庁WEBサイトFAQ

Q3 「学校部活動の地域連携」と「地域クラブ活動への移行（地域移行）」はそれぞれどのようなものですか。

A.

学校部活動は、学校教育の一環として、学校の責任下で行われる活動を指しており、部活動指導員や外部指導者といった地域の方々に参画いただいたり、複数の学校で合同練習を行ったりすることを「地域連携」と称しています。

地域クラブ活動は、社会教育の一環として捉えることができ、また、スポーツ基本法や文化芸術基本法上の「スポーツ」「文化芸術」として位置づけられるものです。したがって、学校ではなく、地域クラブ活動の運営団体・実施主体が行うものであり、学校部活動とはそもそもの責任主体が異なります。学校部活動を地域クラブ活動に代替させていくことを、「地域移行」と称しています。

学校部活動

位置付：学校教育

従来の学校部活	
運営・実施主体	学校
指導者	当該校の教師
参加者	当該校の生徒
場所	当該校の施設
補償	災害共済給付

地域連携

地域連携による学校部活

運営・実施主体	学校
指導者	部活動指導員等
参加者	関係校の生徒
場所	拠点校の施設
補償	災害共済給付

移行

地域クラブ活動

位置付：社会教育

地域移行

地域クラブ活動
(学校部活動では無い)

運営・実施主体	地域の多様な主体 (スポーツ協会・競技団体・文化芸術団体・大学・民間事業者・地方公共団体)
指導者	地域の指導者
参加者	中学校の生徒 (※他世代の参加含む)
場所	学校施設・社会教育施設等
補償	各種保険等

【国ガイドラインP24】

2 休日の学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行の段階的推進

ア 休日における学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行について、国としては、令和5年度から令和7年度までの3年間を改革推進期間と位置付けて支援しつつ、各都道府県及び市区町村においては、地域スポーツ・文化芸術環境整備のための取組を重点的に行っていくため、後記3の推進計画の策定等により、休日の学校部活動の段階的な地域連携・地域移行を進める。その際、例えば中山間地域や離島をはじめ、市区町村等によっては合意形成や条件整備等のため時間を要する場合も考えられることから、地域の実情等に応じて可能な限り早期の実現を目指すこととし、国及び都道府県は適切に指導助言を行う。

【都推進計画P1】

2 地域連携・地域移行に向けた推進目標

令和7年度末までに、都内全ての公立中学校等で、地域や学校の実態に応じ、地域連携・地域移行に向けた取組が行われていることを目指すとともに、休日に教員が部活動の指導に携わる必要がない環境の構築を、段階的かつ可能な限り早期に実現していく。

地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議最終とりまとめ

- 【部活動改革の理念】 将来にわたって生徒が継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保・充実するのが改革の主目的。地域全体で関係者が連携して支え生徒の豊かで幅広い活動機会を保障
- 【地域クラブの在り方】 学校部活動が担ってきた教育的意義を継承・発展させつつ、新たな価値を創出。地域クラブ活動の定義・要件や認定主体。認定方法等を国として示す必要。
- 上記の理念・あり方を的確に表すため、「地域移行」を「地域展開」に変更
- 次期改革期間内（前期：R8-10年度・後期：R11 - 13年度）に休日については全ての学校部活動において地域展開を目指す。

1 推進目標

令和6年3月に東京都から示された推進計画に基づき、市内全ての公立中学校で、地域や学校の実態に応じ、部活動の地域移行に向けた取組が行われていることを目指すとともに、休日等に教員が部活動の指導に携わる必要がない環境の構築を、段階的かつ可能な限り早期に実現していく。

2 改革推進期間における多摩市の取組

R5年度（改革推進期間1年目）実態把握と情報収集

- 他県・他市の取組についての情報収集
- 現行の部活動に関わる生徒、教員、保護者を対象としたアンケートの実施
- 地域移行の受け皿となるスポーツ及び文化団体関係者との国や都の動向、アンケート内容の共有



R6年度（改革推進期間2年目）協議会による実態把握・課題の整理、情報交換、協議会に参加していない保護者等への情報発信

- 年7回の部活動地域連携・地域移行協議会の実施
- 検討項目を3つに分け、各委員会の設置・協議
- アンケートの実施（対象、内容、時期は検討中）
- 多摩市のガイドライン（案）の検討と作成
- 指導に携わる上での課題等の把握
- 実施主体の確保、試行対象や時期の検討



R7年度（改革推進期間3年目）具体的な取組方法の検討

- 部活動地域連携・地域移行協議会の実施（回数や時期は検討中）
- 地域移行に関する試行の実施、試行結果の検証（成果、課題）
- コーディネーターの実務（役割、配置人数、連絡・調整の時期や内容等、実務に関する年間スケジュール等）
- ガイドライン（市）の策定
- 地域移行実施に関する学校（生徒、保護者）への周知（希望調査等の実施、費用負担、申込時期等）
- 説明会（保護者・市民対象）の実施
- 外部視察（都内または近郊の先行地域）



ゴールイメージ：多摩市の学校部活動の地域連携・地域移行のゴールは段階的に達成するものとする。

- ① 地域のスポーツ・文化団体の「既存の活動」等を生かし、指導者の方や、参加する生徒・保護者が、運営・移動・費用の観点から過度な負担を強いられることなく、持続可能な活動として参加できるものについて、休日「地域移行」を段階的に進めていく。
- ② 生徒の人数や地域のスポーツ・文化団体の状況の変化も想定されることから、「生徒が地域でスポーツや文化芸術活動に親しめる環境の構築」に向け、令和8年度以降も、関係者（学校、保護者、地域団体、市及び市教育委員会職員等）との連絡会（仮称）を実施していく。

地域連携・地域移行（地域展開）とは

- 「地域連携」とは学校責任下の学校部活動として、地域の方に指導員などとして参加いただき、複数の学校で合同して活動することなどをいう。
- 「地域移行（地域展開）」とは学校活動では無く、社会教育の一環として学校部活動を地域クラブ活動に代替させていくことをいう。

国が示す方向性

- 令和5年度から令和7年度までの3年間を改革推進期間と位置付けて休日の学校部活動の段階的な地域連携・地域移行を進めている。
- 次期改革期間内（R8年度からR13年度）に休日については全ての学校部活動において地域展開（地域移行）を目指すとの方向性を示している。



東京都及び多摩市は、休日に教員が部活動の指導に携わる必要がない環境の構築を、段階的かつ可能な限り早期に実現していくことを目標にしている。

2

アンケート結果概要

生徒の回答 要旨

- 希望する分野の地域クラブ活動がある場合の参加意向は 3 8. 8 %
- 休日の地域クラブ活動における希望する活動頻度は、「週 1 日」が最も多く 5 8. 7 %
- 休日に地域クラブ活動に参加する場合、希望する 1 日の活動時間は、「2 時間」が最も多く 5 3. 5 %

保護者の回答 要旨

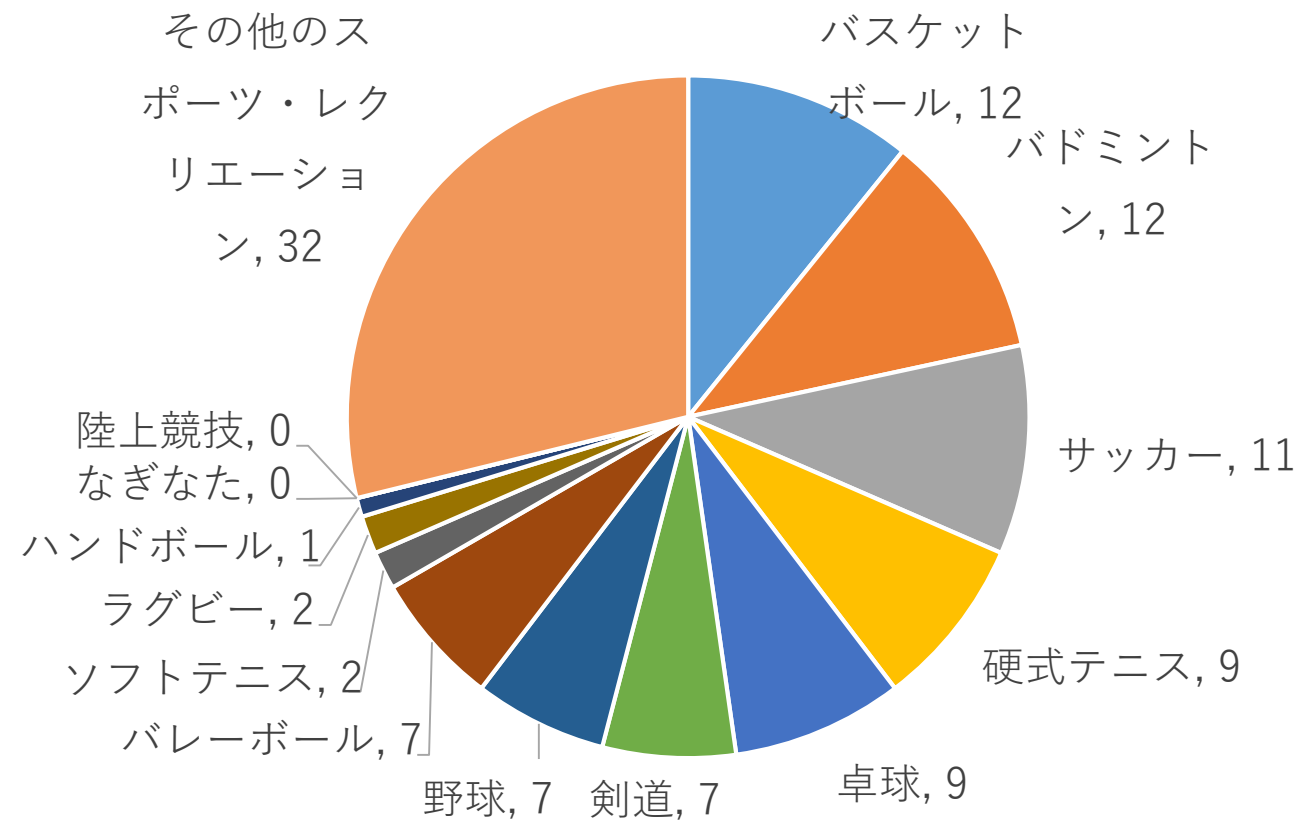
- 現在の部費は、「月 1 円～2,500円」が最も多く 6 2. 4 %
- 現在の部費以外の負担している費用は、「月 1 円～2,500円」が最も多く 8 4. 2 %
- 休日の地域クラブ活動参加に当り保護者負担する活動費について、「月 3,000円～5,000円なら参加」が最も多く 5 2. 5 %
- 学校に、希望する種目や分野の部活動がない場合、参加させたい活動は、「地域クラブ参加」が最も多く、6 4. 6 %

教員の回答 要旨

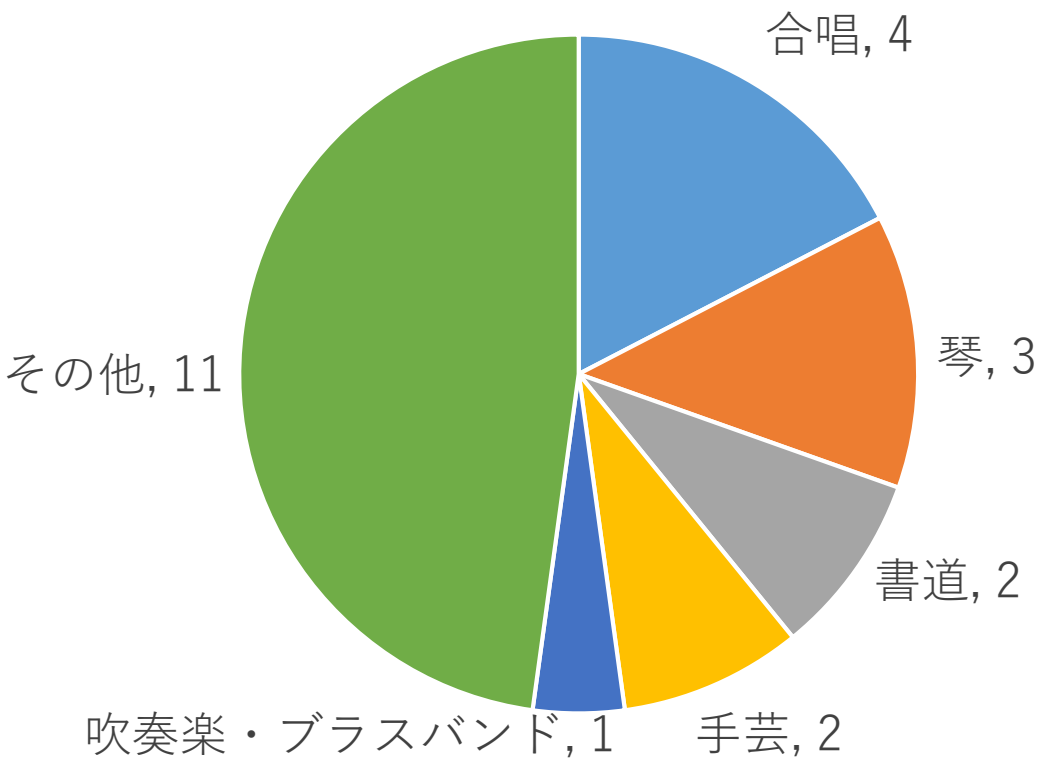
- 休日の部活動に携わっている日数は、「月当たり 4 日以上」が最も多く 4 5. 8 %
- 自分の専門の部活動について、「携わりたくない」が最も多く 4 5. 2 %
- 自分の専門ではない部活動について、「携わりたくない」が最も多く 7 9. 3 %
- 現在、部活動の指導や運営について、「負担を感じている」が最も多く 4 5. 8 %
- 現在、部活動の指導や運営によって、「教材研究に支障」が最も多く 7 1. 2 %

※アンケート結果詳細はP36以降参考資料参照

スポーツ団体：111件



文化団体：23件

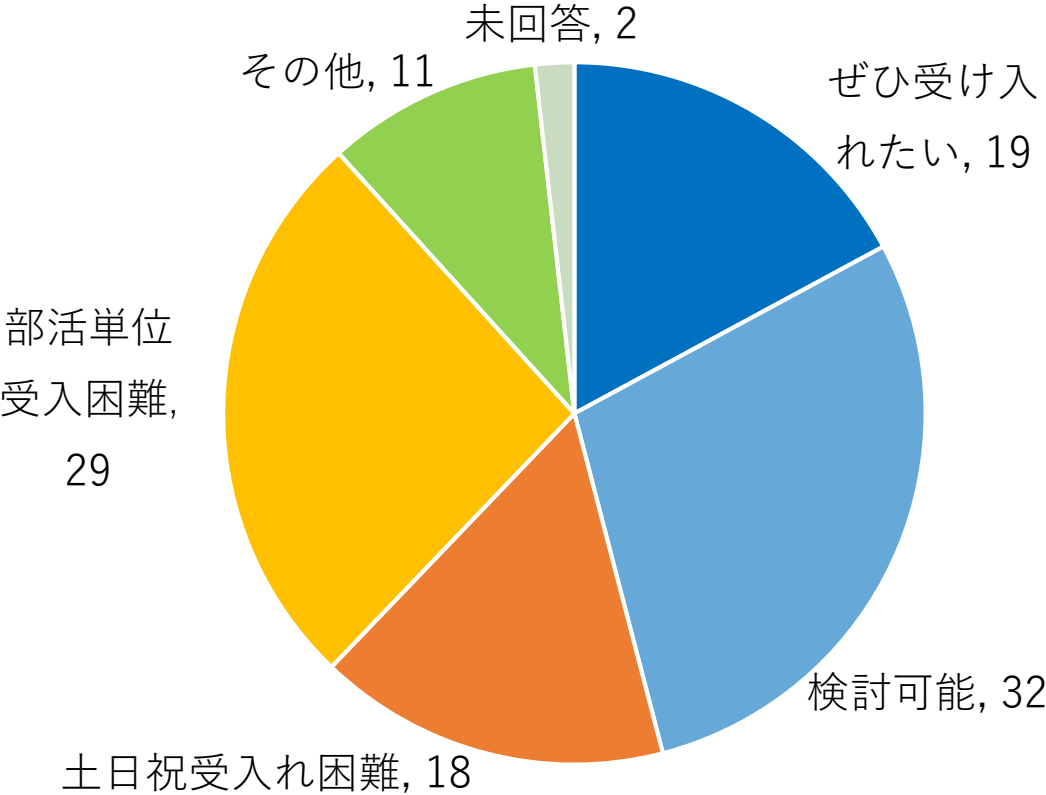


Q.貴団体の活動内容が同じ内容の「部活」の土日祝日における受入れ可否等についてお答えください

スポーツ団体・肯定的回答

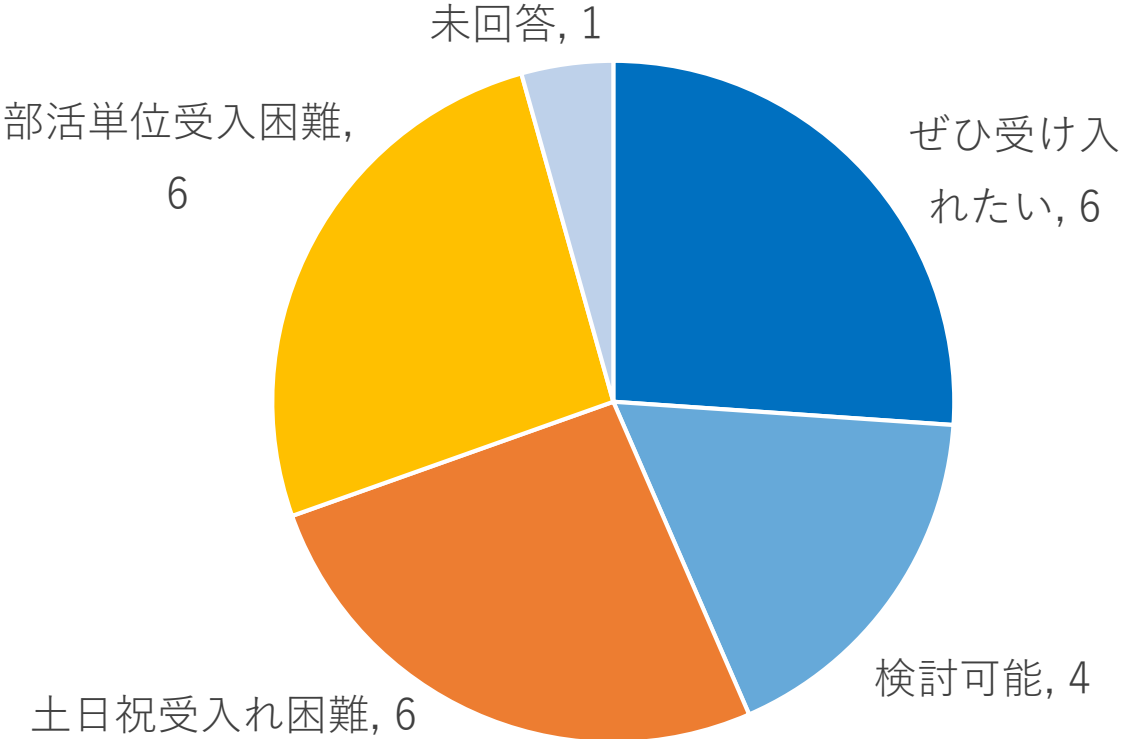
54件（48.6%）

※「その他」回答の内、その内容が肯定的であった回答を含む。



文化団体・肯定的回答

10件（43.4%）

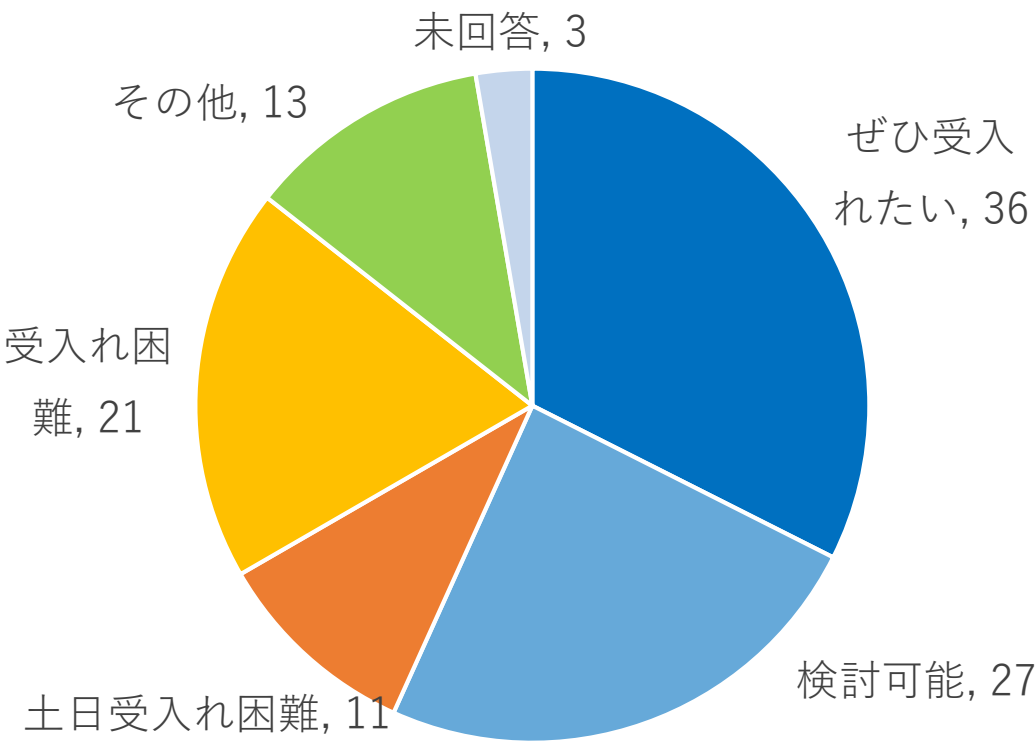


多摩市スポーツ文化団体アンケート結果③

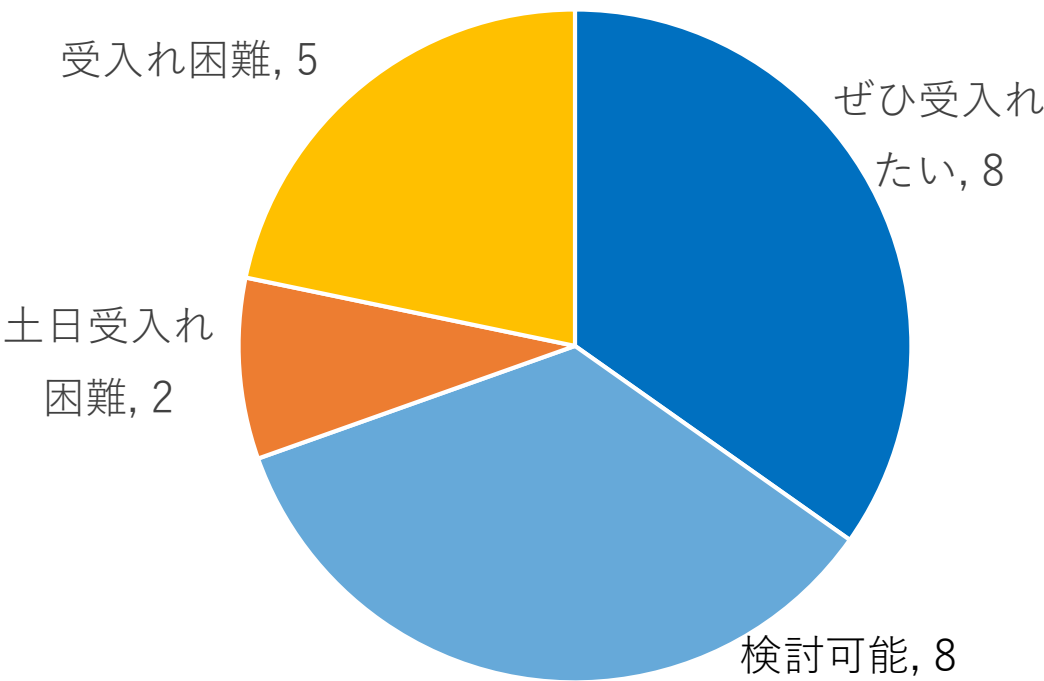
Q.「部活」としてではなく、「生徒個人」の受入れ可否等についてお答えください

スポーツ団体・肯定的回答
72件（64.9%）

※「その他」回答の内、その内容が肯定的であった回答を含む。

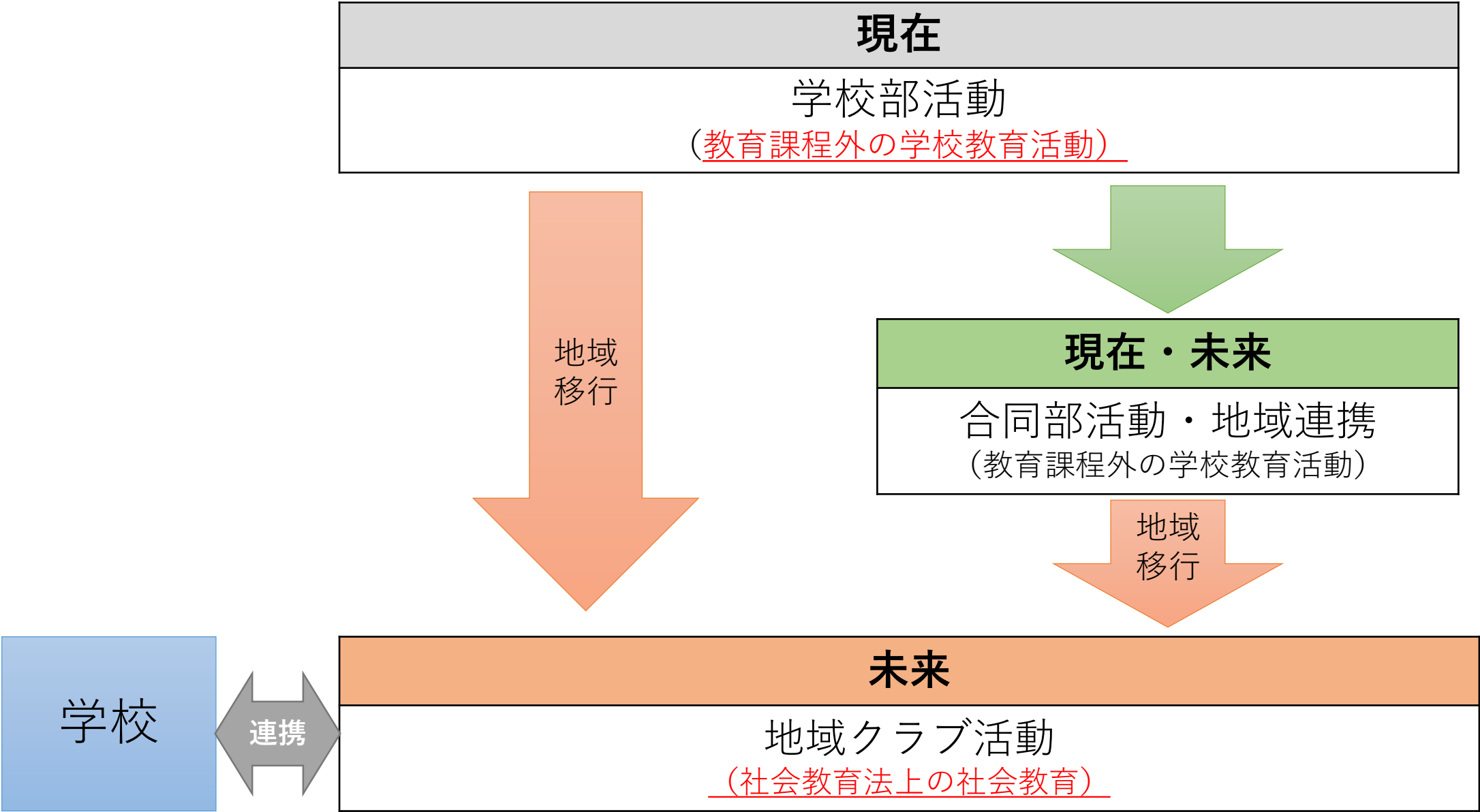


文化団体・肯定的回答
16件（69.5%）



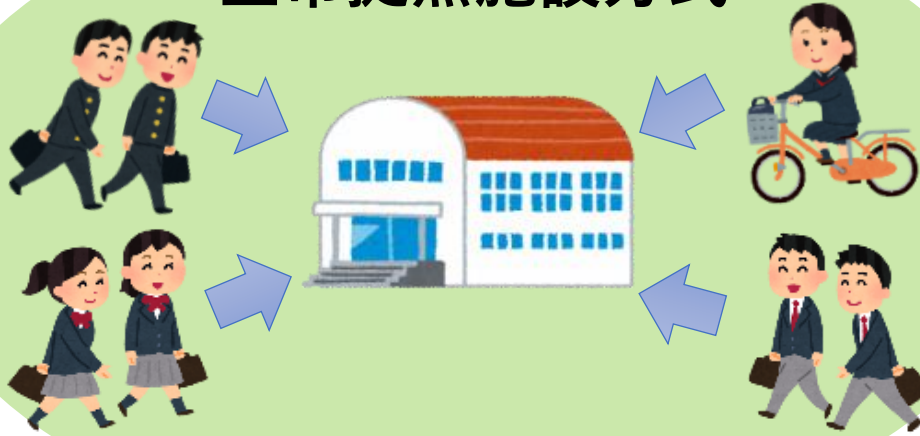
3

多摩市における現在の検討状況



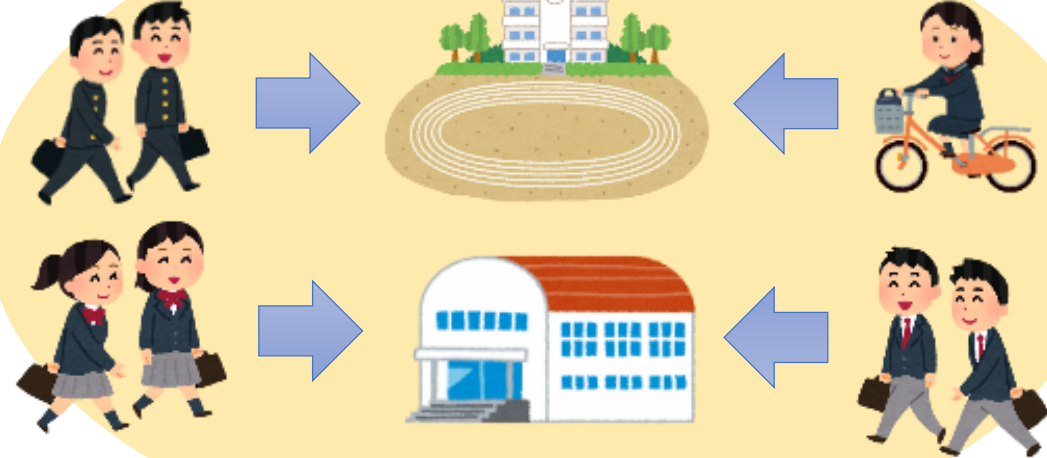
市内 1 か所の活動拠点施設に集めて活動

全市拠点施設方式



エリア内に設定した活動拠点施設に集めて活動

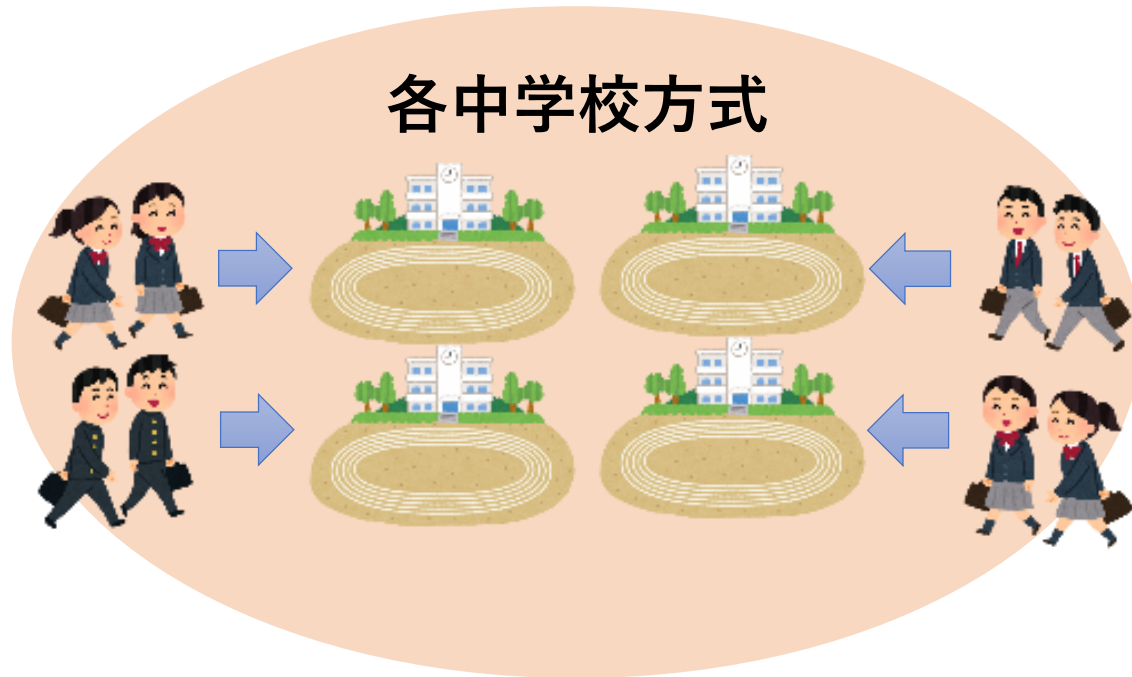
地区別拠点施設方式



【検討のポイント】

- 会場や指導員が比較的確保しやすい。
- 他校生徒との交流が促進される。
- △ 移動について、生徒・保護者に負担が発生する。
- △ 部員数の多い競技・活動は大きな会場が必要になる。
- △ 活動日等について学校との調整が必要。

自身が通学する中学校を会場として活動



【検討ポイント】

- 平日と休日の活動の一体性が確保しやすい。
- 活動施設への移動にかかる負担が発生しない。
- 学校間などの調整が発生しない。
- △ 指導員を確保することが困難。
- △ 部員数減少の課題解決にはつながりにくい。

既存の地域団体活動に参加



【検討ポイント】

- 既存の部活以外も選択肢が広がる。
- 様々な世代など地域との交流が生まれる。
- 既存団体にとって会員増加につながる。
- △ 競技によっては受け入れ可能な地域クラブが存在しない場合がある。
- △ 中学生受入れにより活動面積が不足する。

多摩市の運動部活動基本データ（令和6年度）

部活動名	設置数		部員数		休日活動			
	設置校数	設置学校数割合	部員数	平均部員数/学校	恒常的活動校数	季節限定活動校数	休日平均活動日数／週	休日平均活動時間／日
サッカー	7校	77.8%	131人	18.7人	6校	1校	1.0日	3.0時間
バスケットボール	9校	100.0%	302人	33.6人	9校		1.0日	3.0時間
バレーボール	7校	77.8%	179人	25.6人	7校		1.0日	3.0時間
ハンドボール	1校	11.1%	23人	23.0人	1校		1.0日	3.0時間
硬式テニス	7校	77.8%	220人	31.4人	7校		1.0日	2.7時間
ソフトテニス	2校	22.2%	61人	30.5人	2校		1.0日	3.0時間
卓球	5校	55.6%	146人	29.2人	2校		1.0日	3.0時間
バドミントン	6校	66.7%	221人	36.8人	6校		1.0日	3.0時間
軟式野球	7校	77.8%	93人	13.3人	6校		1.0日	3.0時間
剣道	2校	22.2%	25人	12.5人	1校	1校	1.0日	3.0時間
なぎなた	1校	11.1%	24人	24.0人		1校		3.0時間
陸上競技	8校	88.9%	233人	29.1人	6校		1.0日	3.0時間
総合運動・スポーツ	1校	11.1%	18人	18.0人	1校		1.0日	3.0時間

多摩市の文化系部活動基本データ（令和6年度）

部活動名	設置数		部員数		休日活動			
	設置校数	設置学校数割合	部員数	平均部員数/学校	恒常的活動校数	季節限定活動校数	休日平均活動日数/週	休日平均活動時間/日
吹奏楽・ブラスバンド	9校	100.0%	252人	28.0人	3校	2校	1.0日	3.6時間
合唱	2校	22.2%	18人	9.0人	1校		1.0日	3.0時間
和太鼓	1校	11.1%	32人	32.0人	1校		1.0日	3.0時間
美術	9校	100.0%	255人	28.3人	1校	1校	1.0日	3.0時間
家庭	5校	55.6%	86人	17.2人	1校		1.0日	3.0時間
文芸	1校	11.1%	22人	22.0人				
自然科学	1校	11.1%	17人	17.0人				
理科	1校	11.1%	41人	41.0人				
英語	2校	22.2%	31人	15.5人				
JRC（赤十字奉仕団）	2校	22.2%	11人	5.5人		2校		2.5時間
園芸	1校	11.1%	4人	4.0人				
工芸	1校	11.1%	24人	24.0人				
ハンドメイド	2校	22.2%	34人	17.0人				
愛宕アカデミー	1校	11.1%	70人	70.0人		1校		3.0時間
情報文化	2校	22.2%	34人	17.0人				
農芸	1校	11.1%	27人	27.0人				
野外活動	1校	11.1%	9人	9.0人		1校		2.0時間
チャレンジ	1校	11.1%	38人	38.0人		1校		2.0時間

運動部・部活数・部員数とアンケート結果から活動場所を検討

部活名	部活数 (※)	休日	部員数	アンケート結果		活動場所			
		活動 部活数	部員数	部活 受入	個人 受入	全市拠点 方式	地区別拠 点方式	各中学校 方式	既存団体 参加方式
サッカー	7校	6校	131人	4団体	3団体	×	○	△	△
バスケットボール	9校	9校	302人	7団体	7団体	×	○	△	△
バレーボール	7校	7校	179人	2団体	3団体	×	○	△	△
ハンドボール	1校	1校	23人	1団体	1団体	○	×	×	○
硬式テニス	7校	7校	220人	2団体	3団体	×	○	×	△
ソフトテニス	2校	2校	61人	-	-	×	×	×	×
卓球	5校	2校	146人	-	1団体	×	△	△	△
バドミントン	6校	6校	221人	4団体	5団体	×	○	△	△
軟式野球	8校	6校	93人	3団体	4団体	×	○	△	○
剣道	2校	1校	25人	5団体	6団体	○	○	△	○
なぎなた	1校	0校	24人	-	-	×	×	×	×
陸上競技	8校	6校	233人	-	-	×	×	×	×
総合運動・スポーツ	1校	1校	18人	-	-	×	×	×	×
総計	64校	54校	1676人	28団体	33団体				

※男女別の部活動も1校でカウントしている。

文化部・部活数・部員数とアンケート結果から活動場所を検討

		休日	部員数	アンケート結果		活動場所			
部活名	部活数	活動 部活数	部員数	部活 受入	個人 受入	全市拠点 方式	地区別拠点 方式	各中学校 方式	既存団体 参加方式
吹奏楽・ブラスバンド	9校	3校	252人	1団体	1団体	×	×	△	△
合唱	2校	1校	18人	1団体	1団体	×	×	△	○
和太鼓	1校	1校	32人	0団体	0団体	×	×	×	△
美術	9校	1校	255人	1団体	1団体	×	×	△	○
家庭	5校	1校	86人	0団体	2団体	×	×	×	○
文芸	1校	0校	22人	1団体	1団体	×	×	×	○
自然科学	1校	0校	17人	0団体	0団体	×	×	×	×
理科	1校	0校	41人	0団体	0団体	×	×	×	×
英語	2校	0校	31人	0団体	0団体	×	×	×	×
JRC（赤十字奉仕団）	2校	0校	11人	0団体	0団体	×	×	×	×
園芸	1校	0校	4人	0団体	0団体	×	×	×	×
工芸	1校	0校	24人	0団体	1団体	×	×	×	○
ハンドメイド	2校	0校	34人	0団体	0団体	×	×	×	×
愛宕アカデミー	1校	0校	70人	0団体	0団体	×	×	×	×
情報文化	2校	0校	34人	0団体	0団体	×	×	×	×
農芸	1校	0校	27人	0団体	0団体	×	×	×	×
野外活動	1校	0校	9人	0団体	0団体	×	×	×	×
チャレンジ	1校	0校	38人	0団体	0団体	×	×	×	×
総計	43校	7校	1,005人	4団体	7団体				

活動場所 検討のポイント

- 部活動により設置学校数・部員数が大きく異なる状況がある。
- 受入れ可能な地域団体数も部活動種目により大きく異なる状況がある。
- 現状、受入れ可能な団体が見つからない部活種目もある。



活動場所 検討の方向性

- 種目により状況が大きく異なる中で、多摩市として全ての部活動を画一的に1つの方法とすることは難しいことが想定される。
- 現在、設置校数の少ない種目は全市拠点方式が考えられる、その他の種目は設置校数と協力の得られる地域団体数などの状況から方式を検討する。
- 活動方式については、関係者と協議しながら種目ごとに最適な方法を検討していく。

役割・担い手の検討

運営方式の検討にあたっては、各種役割を定め、各役割を実施いただく担い手を決めていく必要がある。

役割	考えられる担い手候補
運営主体	- 一般財団法人多摩市スポーツ協会 - 多摩市文化団体連合 - 地域のスポーツ活動団体 - 地域の文化芸術団体 - 大学 - 民間事業者 - 行政 - その他の団体・個人
実施主体	
指導者	
コーディネーター	

運営方式 詳細検討

以下のような様々な検討課題について、今後検討を進めていく。

活動日	活動場所	指導員確保	指導員の質向上	教員の兼業
保険加入	大会参加引率	受入れ可能人数	会費	指導員謝礼
生徒の移動	連絡方法	事故対応	平日と休日の連携	周知・その他

学校の意向①（運動部の試行時期） 令和7年5月調査

部活	部活数	試行可能		試行時期		課題あり	未回答
		試行可能	割合	令和7年度	令和8年度以降		
サッカー	7	5	71.4%	3	2	2	0
バスケットボール	14	6	42.9%	1	5	8	0
バレーボール	7	2	28.6%	1	1	5	0
ハンドボール	1	1	100.0%	0	1	0	0
硬式テニス	7	4	57.1%	2	2	2	1
ソフトテニス	3	2	66.7%	0	2	1	0
卓球	5	3	60.0%	2	1	2	0
バドミントン	6	2	33.3%	1	1	3	1
軟式野球	7	3	42.9%	1	2	4	0
剣道	2	0	0.0%	0	0	2	0
なぎなた	1	0	0.0%	0	0	1	0
陸上競技	8	2	25.0%	0	2	4	2
総合運動・スポーツ	1	0	0.0%	0	0	1	0

学校の意向②（文化部の試行時期） 令和7年5月調査

部活	部活数	試行可能		試行時期		課題あり	未回答
		試行可能	割合	令和7年度	令和8年度以降		
吹奏楽・ブラスバンド	8	2	25.0%	1	1	5	1
合唱	2	1	50.0%	0	1	1	0
和太鼓	1	0	0.0%	0	0	1	0
美術	8	1	12.5%	0	1	6	1
家庭	4	1	25.0%	0	1	2	1
文芸	2	0	0.0%	0	0	0	2
自然科学	2	0	0.0%	0	0	2	0
英語	1	1	100.0%	0	1	0	0
JRC（赤十字奉仕団）	2	1	50.0%	0	1	0	1
園芸	1	0	0.0%	0	0	1	0
工芸	1	0	0.0%	0	0	1	0
ハンドメイド	1	0	0.0%	0	0	0	1
愛宕アカデミー	1	0	0.0%	0	0	0	1
農芸	1	1	100.0%	0	1	0	0
チャレンジ	1	0	0.0%	0	0	0	1

①地域のスポーツ・文化団体との連携による地域クラブ活動への移行

- 地域団体と連携させていただき、休日について地域移行に向けた試行を行う。
- 令和7年から一部の種目での試行実施を目指す。

②地域のスポーツ・文化団体紹介事業

- 地域で実施されているスポーツ・文化団体の活動の内容等を生徒や保護者に周知することで、生徒が興味関心に応じて自分にふさわしい活動を選べるようにする。
- 令和8年度以降の実施を想定。

4

今後の予定

これまでの経過

時期	内容
令和 6 年 6 月～	部活動地域移行・地域連携協議会での議論を開始
令和 6 年 9 月	多摩市「学校部活動の地域連携・地域移行に関する推進計画」策定
令和 6 年 1 1 月～令和 7 年 1 月	多摩市部活動地域連携・地域移行に関するアンケート調査（地域団体向け）実施
令和 7 年 5 月	多摩市立中学校各校への部活動地域移行に関する意向調査
令和 7 年 5 月	部活動の地域連携・地域移行 説明会（スポーツ・文化団体対象）

今後の予定

時期	内容
令和 7 年 6 月	令和 7 年度試行実施対象種目・対象学校等の検討
令和 7 年 6 月	部活動地域移行・地域連携協議会へ検討状況を報告
令和 7 年 6 月下旬～8 月	令和 7 年度試行実施について地域スポーツ文化団体・学校・多摩市教育委員会・多摩市くらしと文化部において協議
令和 7 年 7 月～8 月	令和 7 年度試行実施に関する実施概要（案）作成
令和 7 年 8 月～9 月	保護者・生徒への周知
令和 7 年 1 0 月以降	令和 7 年度試行実施

5

質疑応答

本日の説明会を踏まえてご意見をお聞かせください

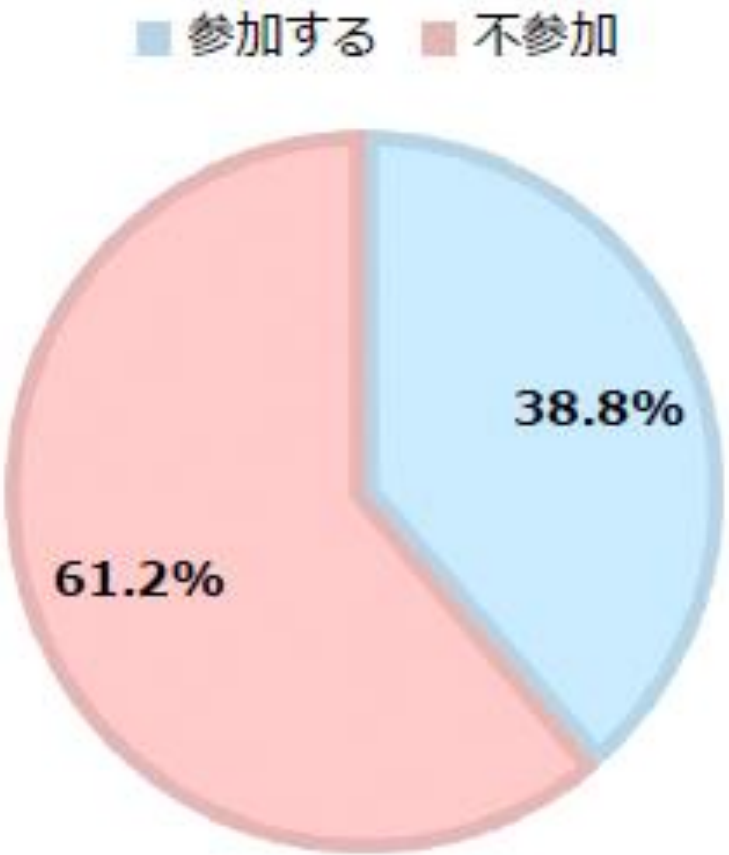


多摩市公式ホームページのリンクからも回答いただけます。

<https://www.city.tama.lg.jp/shisei/gyouseiinkai/kyouiku/1010735/1017324.html>

参考資料

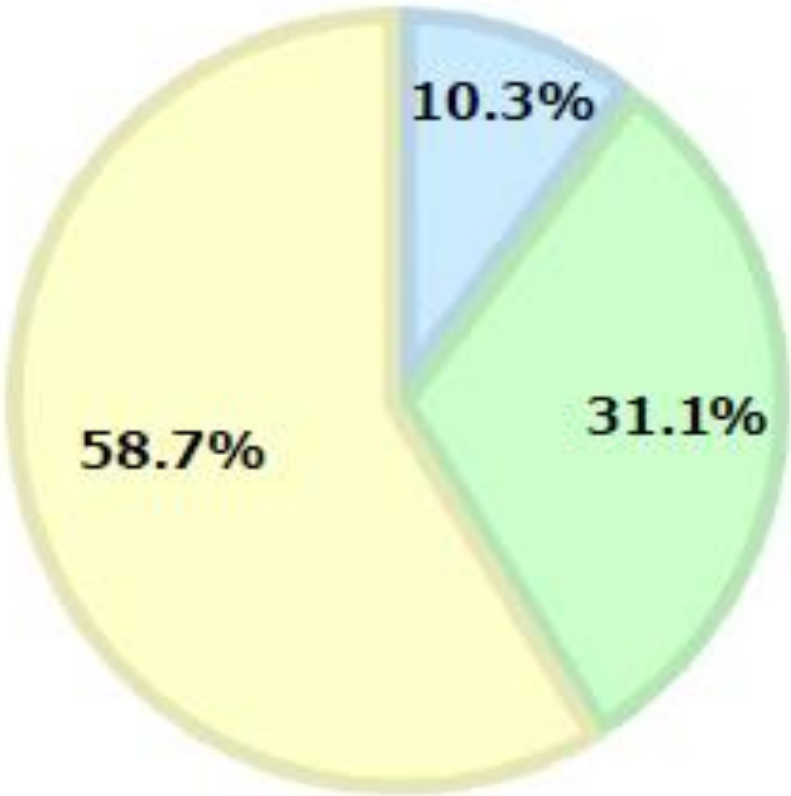
8－2 希望する種目や分野の活動が、地域クラブ活動としてある場合、参加しますか。



参加する	不参加
2,693	4,256
38.8 %	61.2 %

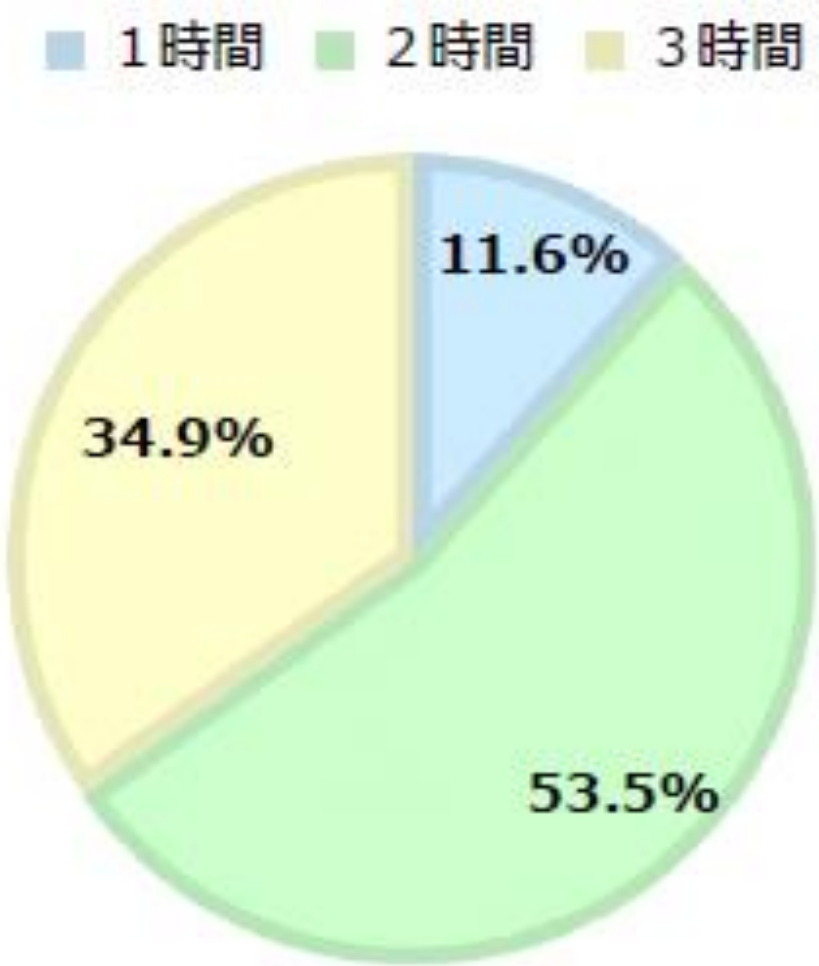
9－4 休日に地域クラブ活動に参加する場合、1つの種目や分野の活動日数は、週あたり何日くらいがよいと思いますか。

■ 月に1回程 ■ 月に2回程度 ■ 週1日



月に1回程	月に2回程度	週1日
1,313	3,967	7,495
10.3 %	31.1 %	58.7 %

9－5 休日に地域クラブ活動に参加する場合、1つの種目や分野の活動時間は、1日何時間くらいがよいと思いますか。

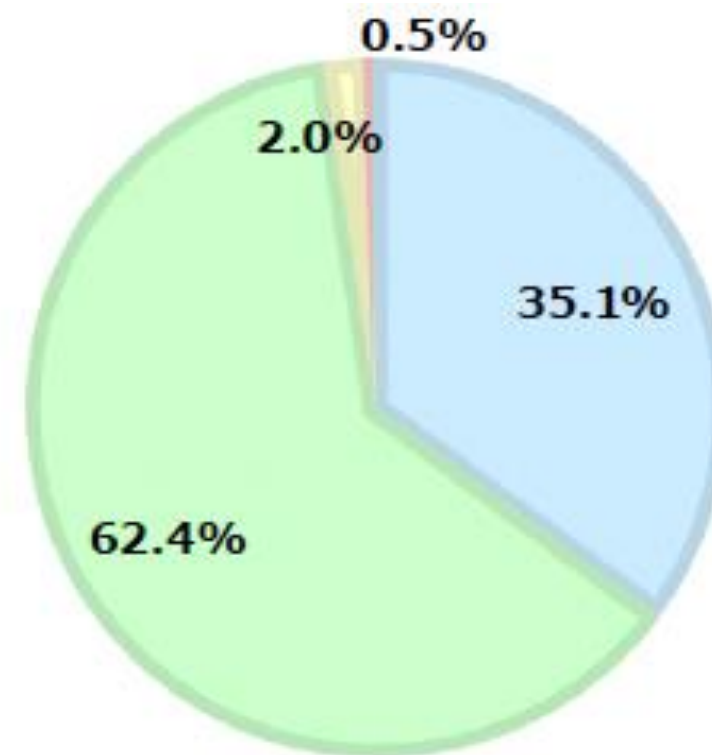


1時間	2時間	3時間
1,488	6,833	4,454
11.6 %	53.5 %	34.9 %

都・生徒・保護者・教員アンケート④（保護者の回答）

7 現在、お子様が参加している部活動の部費（保護者の負担）は、年間いくらですか。

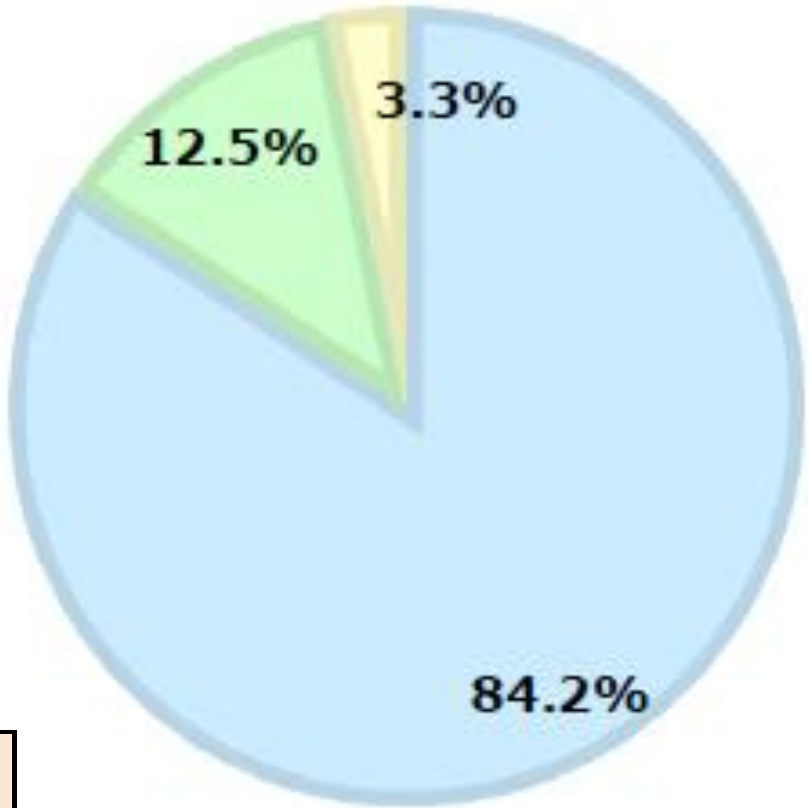
- 負担していない ■ 1円～30,000円
(月1円～2,500円)
- 30,001円～60,000円 ■ 60,001円以上
(月2,501円～5,000円) (月5,001円以上)



負担していない	1円～30,000円 (月1円～2,500円)	30,001円～60,000円 (月2,501円～5,000円)	60,001円以上 (月5,001円以上)
3,715	6,599	210	50
35.1 %	62.4 %	2.0 %	0.5 %

8－2部費以外に負担している費用は、年間いくらですか。

- 1円～30,000円
(月1円～2,500円)
- 30,001円～60,000円
(月2,501円～5,000円)
- 60,001円以上
(月5,001円以上)

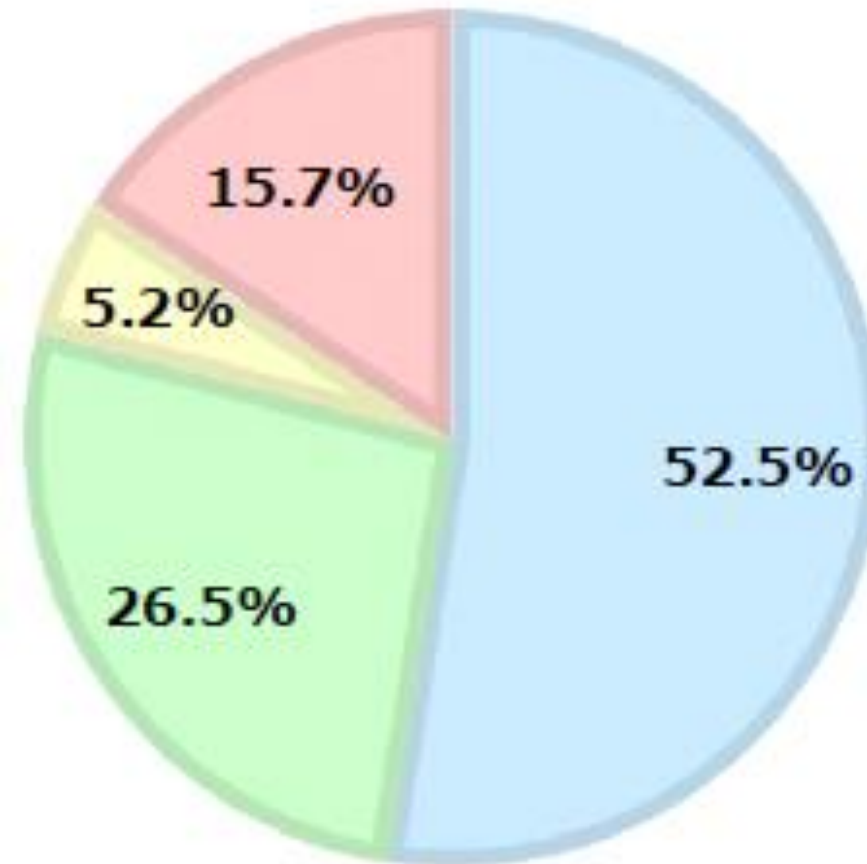


1円～30,000円 (月1円～2,500円)	30,001円～60,000円 (月2,501円～5,000円)	60,001円以上 (月5,001円以上)
7,332	1,091	284
84.2 %	12.5 %	3.3 %

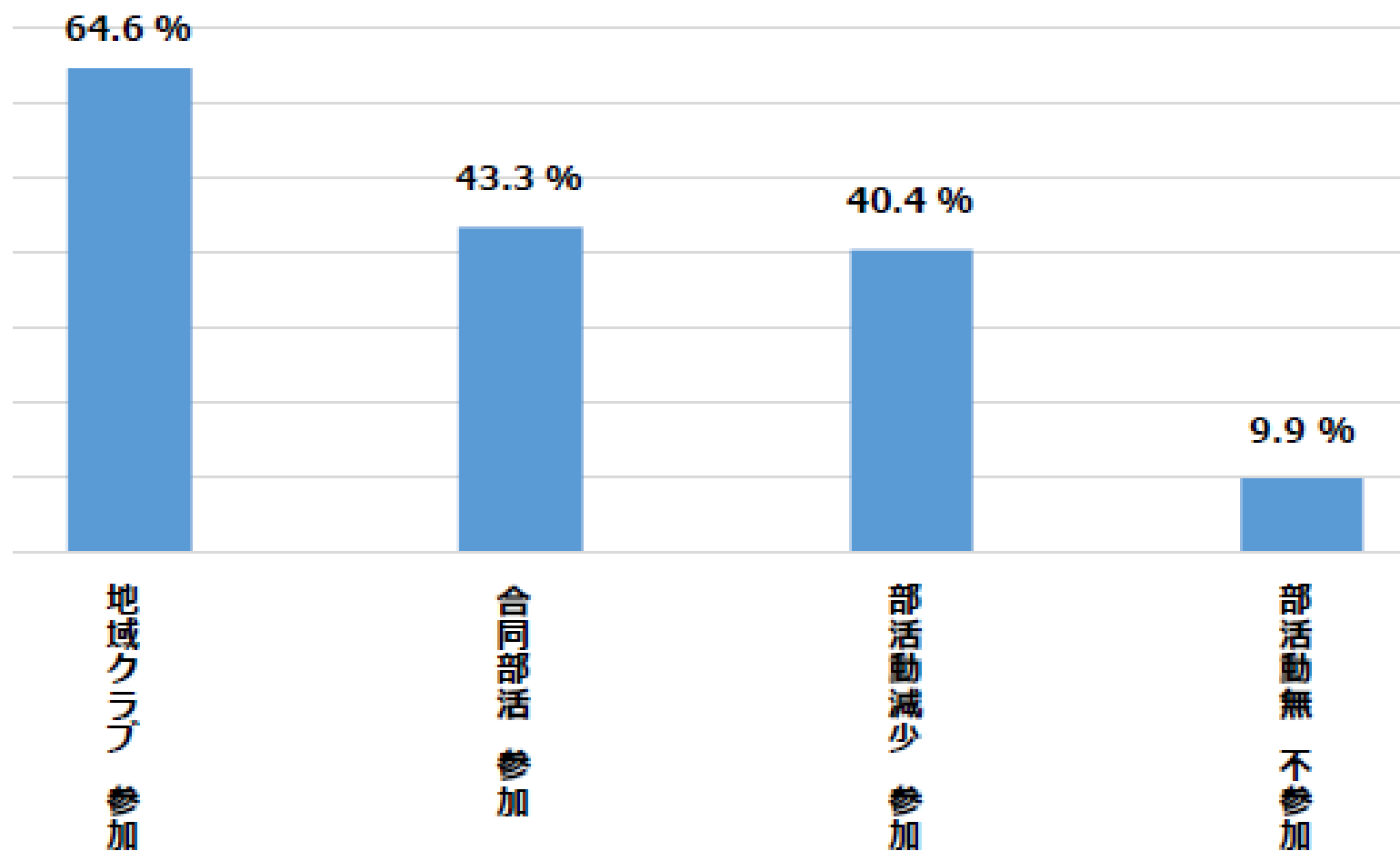
都・生徒・保護者・教員アンケート結果⑥（保護者の回答）

12国は、中学校の部活動について、休日の部活動から地域に移行していくことを示しています。休日の部活動が地域クラブ活動に移行し、その活動にお子様に参加する場合、新たに活動費（指導者謝金等）の負担が保護者に生じることも考えられます。お子様の休日の地域クラブ活動への参加に当たり、保護者が負担する活動費との関係について、どのようにお考えですか。

- 月3,000円～5,000円なら参加
- 月5,001円～10,000円なら参加
- 月10,001円以上でも参加
- 参加させない

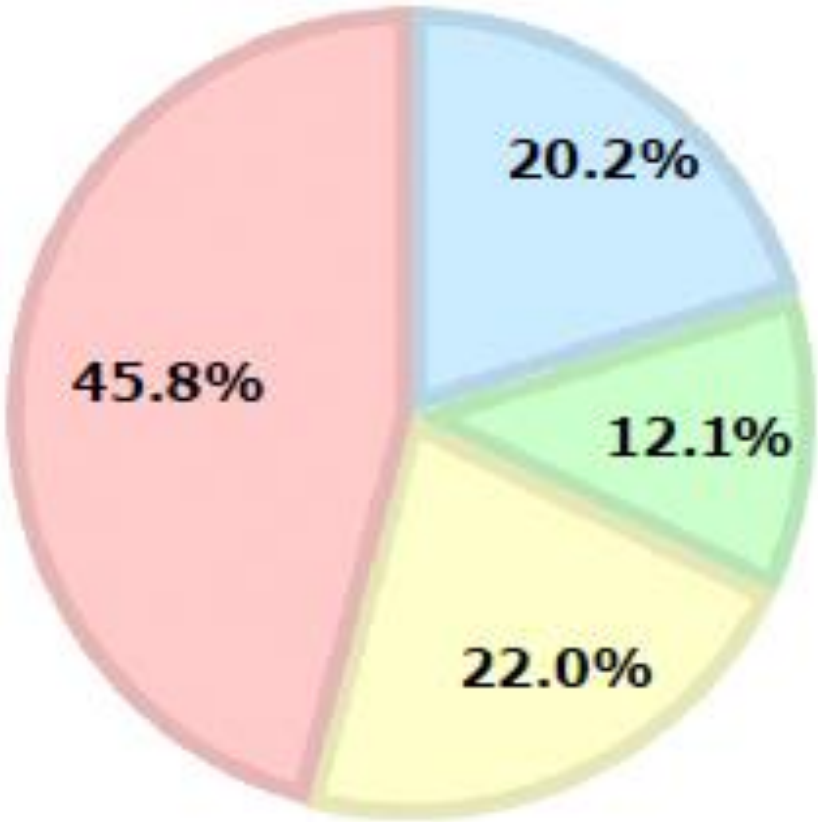


10 今後、生徒数が減り、学校の中で部活動を継続していくことが難しくなっていくことが考えられます。お子様の学校に、希望する種目や分野の部活動がない場合、お子様をどのような活動に参加させたいですか。（複数回答）



6 あなたが休日の部活動に携わっている日数は、月当たり何日ですか。

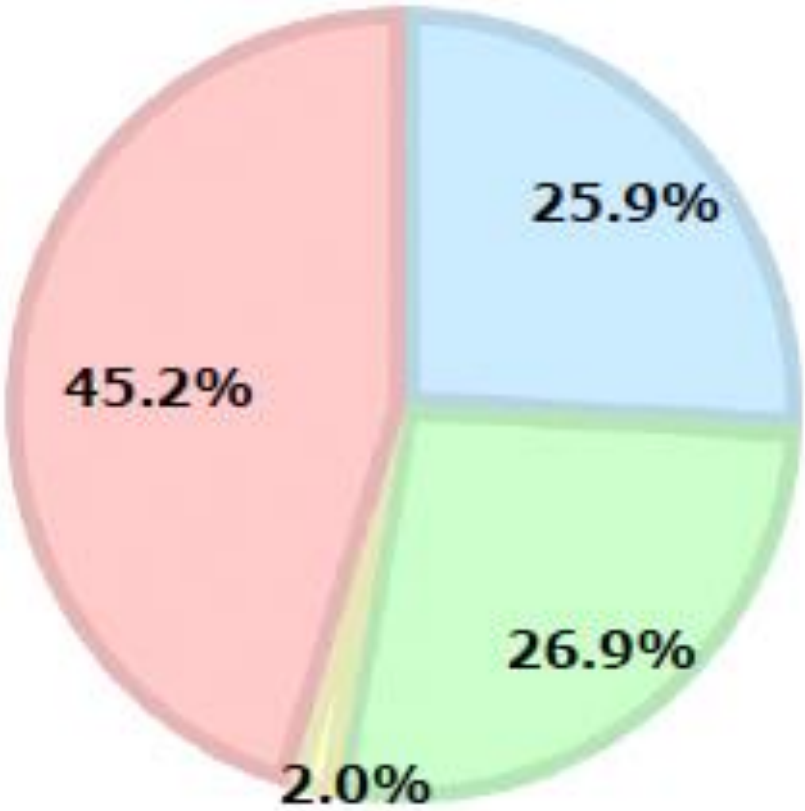
0日／月 1日／月 2、3日／月 4日以上／月



0日／月	1日／月	2、3日／月	4日以上／月
413	247	450	939
20.2 %	12.1 %	22.0 %	45.8 %

8 自分の専門の部活動について、指導や運営に携わりたいですか。

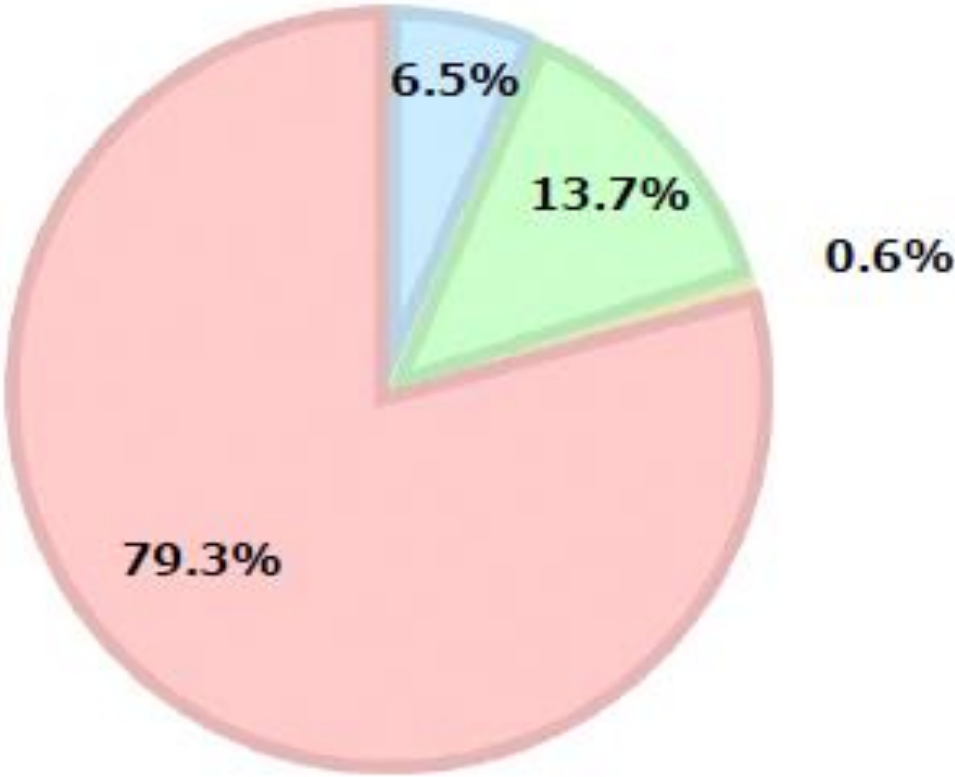
■ 平日休日 ■ 平日のみ ■ 休日のみ ■ 携わりたくない



平日休日	平日のみ	休日のみ	携わりたくない
1,085	1,130	82	1,897
25.9 %	26.9 %	2.0 %	45.2 %

9 自分の専門ではない部活動について、指導や運営に携わりたいですか。

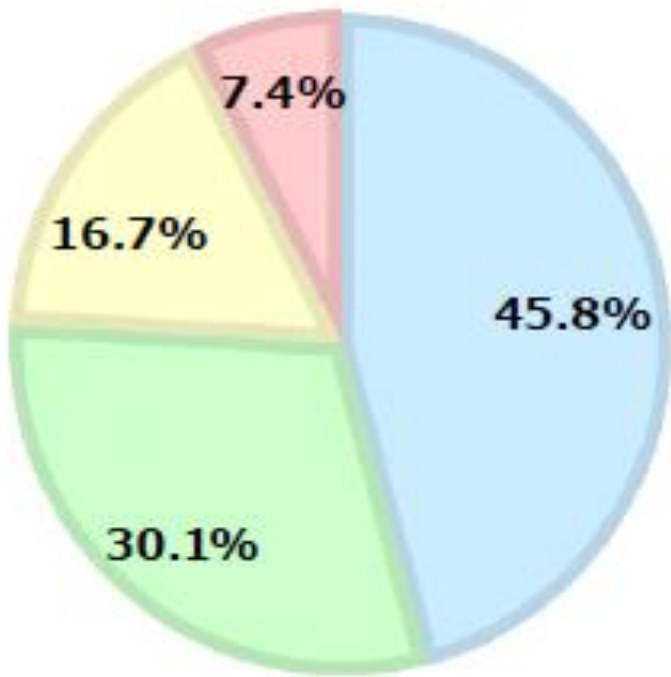
■ 平日休日 ■ 平日のみ ■ 休日のみ ■ 携わりたくない



平日休日	平日のみ	休日のみ	携わりたく ない
271	573	26	3,324
6.5 %	13.7 %	0.6 %	79.3 %

1 1 現在、部活動の指導や運営を負担に感じていますか。

■ 感じている ■ やや感じている ■ あまり感じていない ■ 感じていない



感じている	やや 感じている	あまり感じて いない	感じていない
1,921	1,261	701	311
45.8 %	30.1 %	16.7 %	7.4 %

1 2 現在、部活動の指導や運営によって、どのような業務に支障が生じていますか。（複数回答）

